

8/4-10#1:花嫁—主の回復の目標:I.最も純粋で、最も聖なる意味で、聖書は宇宙的な夫婦のロマンスです。すなわち、神はキリストの中で花婿であり、神の贖われた人は花嫁です:マタイ25:6 真夜中に、「見よ、花婿だ! 彼を迎えに出よ!」と叫ぶ声がした。A神は何世紀にもわたって、人とのロマンスを持ってきました。神が人を創造した目的は、配偶者を持つことでした。B神は愛する方であり、愛する方としてのご自身のかたちに人を創造しました。この事が意味するのは、神が私たちを創造したのは、私たちが彼を愛するためであるということです。C全聖書は神聖なロマンスです。雅歌は、このロマンスの要約です:1聖書はロマンチックな書であり、私たちと主との関係は、ますますロマンチックになるべきです。2もし私たちと主イエスとの間に何のロマンスもなければ、私たちは宗教的なクリスチャンであって、ロマンチックなクリスチャンではありません。3「ロマンス」は神聖な求愛の言葉です。私たちは聖書の中で、神が私たちの愛を追い求めていることを見ます。2コリント11:2 私は神のねたみをもって、あなたがたをねたんでいます。なぜなら、あなたがたを清純な処女としてキリストにささげるために、一人の夫に婚約させたからです。4雅歌はロマンスであるだけではなく、極めてすばらしいロマンスです。D私たちが愛するものは何であれ、私たちの心全体、さらには私たちの全存在でさえ、その愛するものの上に置かれ、またそれによって占有され、所有されます:1「神を愛するとは、私たちの全存在(霊、魂、体を、心、魂、思い、力と共に)完全に彼の上に置くことを意味します。これは、私たちの全存在を彼に占有していただき、私たちの全存在が彼の中で失われることです」。2主イエスを愛するとは、彼を評価し、私たちの存在を彼に向け、彼に開き、彼を享受し、彼に第一位を与え、彼と一になり、彼を生き、彼になることです。II.啓示録19:7~9 は、花婿としてのキリストを明らかにしています:A小羊の婚姻は、神の新約エコノミーの完成の結果です。神の新約エコノミーとは、彼の法理的な贖いを通して、また彼の神聖な命における有機的な救いによって、キリストのために花嫁、すなわち、召会を得ることです。啓21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。B啓示録19章のキリストの花嫁は、すべての勝利者から成っています。Cすべての勝利者は、千年の間、その開始の新鮮な段階において、キリストの花嫁としての新エ

ルサレムとなります。D最終的に、信者たちはみな勝利者たちに連なって、新エルサレムを満ち満ちた程度にまで究極的に完成し、完全なものとし、新天新地において、キリストの妻となり、永遠に至ります。啓21:9 ...「ここに来なさい。あなたに小羊の妻である花嫁を見せよう」。10そして彼は私を霊の中で、大きな高い山へ連れて行き、聖なる都エルサレムが、天から出て神から下って来るのを私に見せたが。III.花嫁は主の回復の目標です:啓19:7 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。A「小羊の婚姻の時が来た」(啓19:7b):1ヨハネは彼の福音書の開始において、小羊と花婿について語っており、啓示録においては、小羊の婚姻の時が来たと言っています。ヨハネ3:29 花嫁を持つ者は花婿である。花婿の友は立って花婿の声を聞き、その声のゆえに喜び歓喜する。こうして、私はこの喜びに満たされている。2大多数の聖徒たちの携え上げと、褒賞を与えるキリストの裁きの座での裁きの後、すぐに続く出来事には小羊の婚姻が含まれているはずだ:3私たちはキリストの裁きの座で褒賞を受けるなら、婚宴にあずかります。4もし褒賞を受けず、主によって良しとされないなら、私たちは滅びることはありませんが、1コリント3:15で記述されているように損失を被るでしょう。B「彼の妻は用意を整えた」(啓19:7b):1「彼の妻」は召会、キリストの花嫁を指しています。2啓示録19:8~9によれば、妻(キリストの花嫁)は、千年期の間の勝利を得た信者たちだけから成っています。21:2の花嫁(妻)は、千年期の後のすべての救われた聖徒たちから成っており、永遠に至ります。19:9 御使いは私に言った、「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである、と書き記しなさい」。彼はまた私に言った、「これらは神の真実な言である」。3花嫁の用意は、勝利者の命における円熟にかかっています。ヘブル6:1 こういうわけで、キリストの初歩的な言を後にして、再び基礎を据えることをしないで、円熟にもたらされようではありませんか。4私たちは、金としての父なる神と、真珠としての子なる神と、宝石としての霊なる神とをもって、キリストの花嫁としての新エルサレムを飾り、究極的に完成する必要があります。5勝利者は、分離した個人ではなく、団体の花嫁です。6勝利者は、命において円熟しているだけでなく、一人の花嫁として共に建造されています。C「彼女は輝く清い細糸の亜麻布の衣を着ることを許された。その細糸の亜麻布の衣は、聖徒たちの義で

ある」(啓19:8):**1**「清い」は性質を指しており、「輝く」は表現を指しています。**2**「義(複数)」と訳されたギリシャ語は、「義なる行ない」とも訳すことができます。**3**義(複数)は、私たちが救いのために受けた義を指しているのではありません。**4**私たちが救いのために受けた義は客観的であり、私たちが義なる神の要求を満たすことができますようにしますが、啓示録19:8の勝利を得た聖徒たちの義は主観的であり、彼らが勝利を得たキリストの要求を満たすことができますようにします。ピリピ3:9そして、キリストの中に見いだされるためです。それは、律法に基づく私自身の義を持つのではなく、キリストにある信仰を通しての義、すなわち、信仰に基づく神からの義を持って。**5**こういうわけで、細糸の亜麻布は、私たちの勝利を得る命、勝利を得る生活を示しています。それは、私たちの存在から生かし出されるキリストです。**D**「小羊の婚宴に招かれている者は幸いである...これらは神の真実な言である」(啓19:9):**1**小羊の婚宴は、結婚の婚宴、すなわち、千年王国であって、それは神の目には一日のようです。それは勝利を得た信者たちにとって褒賞となります。マタイ22:2 天の王国は、王が自分の息子のために婚宴を用意するようなものである。**14** なぜなら、招かれる者は多いが、選ばれる者は少ないからである。**2**キリストの婚宴に招かれるのは幸いなことであり、これは勝利を得た信者たちを、千年期の享受の中へと導き入れます。**3**啓示録19:9の小羊の婚宴は、マタイ22:2の婚宴です。それは勝利を得た信者たちに対する褒賞です:**a**召される(招かれる)とは、救いを受けることです。選ばれるとは、褒賞を受けることです。**b**勝利者たちだけが、彼らに対する褒賞である婚宴に招かれます。すべての救われた者たちが婚宴にあずかるわけではありません。**c**小羊の婚宴に招かれる勝利を得た信者たちは、小羊の花嫁でもあります。**証**1986年に台湾全時間訓練に参加した時、リー兄弟、アンドリュー・ユー兄弟、同労者たちは何度も、「**主の回復は主の再来をもたらすためです。キリストのからだは建造され、花嫁が準備される時、主は花婿として再来することができます**」と言われました。その時(26歳)から今(65歳)まで、この回復のビジョンが、常に私を方向付け、力付けてきました。このビジョンは私に以下のことを告げ続けてきました。

①私は主を愛するべきである:**I.D.2**「主イエスを愛するとは、彼を評価し、私たちの存在を彼に向け、彼に開き、彼を享受し、彼に第一位を与え、彼と一になり、彼を生き、彼になることです」。私

が主よりも、仕事、家族、奉仕、人情などを愛する時、主は私に、「私はあなたの花婿である」と言われました。このビジョンに照らされるたび毎に、私は主の恵みと憐みに頼り、次のように祈りました、「**主よ、あなたを愛します。私はあなたを私の愛する花婿とします。私の罪を赦してください。あなたの愛が、私の他の愛を焼き尽くしてください。私をあなたとのロマンスの中に留めてください**」。

②花嫁が整えられることは、主の再来の時期を決定するので、極めて重要です:「**主イエスよ、花嫁が整えられなければ、あなたは再来することができません。このことが、あなたの再来の時期を決定します。これは、主の回復の目標であり、私の人生の目標です。どんな困難があっても、私は何かが何でも、必ずこれを成し遂げなければなりません。キリストのからだの生活を実行し、からだを建造する勝利者になる志を持ち続けさせてください**」。

③王国の福音の宣べ伝え:花嫁の準備と同時にマタイ24:14「この王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる。それから終わりが来る」を用いて、諸地方召会が、主の再来のために王国の福音を全地に伝えなければならないことが、何度も強調されました。

④自分自身に頼って、このビジョンを成し遂げることはできないので、私は祈らなければならない:**おお主イエスよ、私は自分自身に頼って、初めの愛、最上の愛であなたを愛し続けることはできません。あなたを愛することにおいても、私はあなたに依存します。私はあなたを離れては、何もすることができません**。

2024年春ITERO#3主の回復における力ある三つの実質...祈り、その霊、御言:あなたは祈るとき、仕事や他の事柄で占有されてはなりません。さらには福音の宣べ伝えで占有されてはなりません。...あなた自身を主に開いたままにしてください。少なくとも十分間、主に入って来てあなたに語っていただき、あなたを照らしていただき、あなたのすべての欠点、罪深さ、邪悪、不純な思いを指摘していただきなさい。あなたの全存在を完全に光の中にもたらし、あなたの真の状態を徹底的に暴露していただくように主に求めてください。このような祈りはあなたを優勢にします。あなたは力に満ちている振りをする必要はありません。純粹にされ懲らしめられた人として、あなたは口を開くとき、あらゆる言葉は力ある言葉となるでしょう。...そのような祈りの人は内側と外側をその霊で満たされます。祈りとその霊と御言以外の方法を取ることを考えないでください。(長老訓練第7巻#2)